

『北条地区学校のあり方を考える会』における「保護者委員」の意見結果 及び地区保護者等との意見交換状況について

（「北条地区学校のあり方を考える会」について）

- 委員 6名（小学校保護者3名・未就学児保護者2名・地区代表1名）
- 検討過程 令和4年10月～令和5年5月

（協議内容）

- ✓ 現状の学区を分割して、学年当り単一学級となる小規模学校での教育環境を望む（最低限の1学年15人，小学校全体で90人規模）
- ✓ 現状と同様に、将来に渡りクラス替えが可能となる学校規模での教育環境を望む。

（協議経過）

日 付	内 容
令和4年6月23日	保護者・地区説明会（基本指針説明、地区協議方法に関する意見交換）
令和4年11月8日	「学校のあり方を考える会」第1回会議 （組織規約の決定、意見集約化の手法検討）
令和4年12月20日	「学校のあり方を考える会」第2回会議 （学校規模に関するメリット・デメリット／論点整理など）
各保護者委員が“保護者として考える望ましい学校規模について”検討する期間	
令和5年2月7日	「学校のあり方を考える会」第3回会議 （保護者委員／意見交換～意見集約化）
令和5年3月10日	保護者意見聴取（～令和5年3月31日まで意見聴取期間）
令和5年5月30日	「学校のあり方を考える会」第4回会議 （意見聴取結果を含め、保護者委員の意見決定）
令和5年6月2日	保護者通知（保護者委員の決定意見を小学校・未就学児保護者に周知）
令和5年6月26日	北条地区（連合町内会）にて保護者意見の説明
令和5年6月28日	北条地区（町内会長・区長会長へ通知／保護者委員の決定意見）

(協議結果／保護者委員意見)

結 論
将来に渡りクラス替えができる学校規模を望む
理 由
● 小学校6年間固定化された友人関係ではなく、クラス替えを含め多くの友人と様々な経験をさせてあげたい。
各委員の意見（将来に渡りクラス替え可能な規模を望む意見）
<p>○ 年々北条小の子供達が減少している状況の中で、あえて今以上に学区を分割し小規模化を目指すメリットが見えない。【多数意見】</p> <p>○ クラス替え可能な規模でのメリット（子供の交友関係の広がりや新たな人間関係を築かせる力を養うことなど）と、小規模校のメリット（きめ細かな指導、リーダーを務める機会が確保できる）を比べても、クラス替え可能な規模のメリットの方が、子供にとってより良い学校環境だと思った。</p> <p>○ 一定の学校規模により、年代・性別などバランスの取れた教員配置が可能となり、多様な指導方法（TT、グループ別、教科担任制）も充実することが出来るため。</p> <p>○ 指導塾などでも個別指導などを売りにしており、小規模校での個別指導のメリットは理解できるが、今の学区を分割して更なる小規模化の学校を目指すというのは現実的ではない。</p> <p>○ 小規模のメリットとされる細かな指導はメリットだと思うし、わからないことがあった時は教えてもらいやすいかと思うが、それよりも同級生の友達が多い方が大切なことだと思う。</p> <p>○ クラス替えによる、新たな人間関係を構築する力の育成というメリットを一番重要視したい。小規模・少人数であると、人間関係が固定化されてしまい、場合によっては一度ついた子供の間の序列がずっと変わらないこともあり得る。</p> <p>（参考：地区代表意見）</p> <p>○ 小学校時代に多くの同級生と交わり視野を広げることは、今後の人生経験においても重要なこと。今後も、クラス替え可能な規模を保つといった保護者の方々の意見に賛成します。</p>
各委員の意見（現状よりも小規模を望む意見）
○ 支持する意見なし